

AMED-Prime 研究

研究課題

幼児期のIgE応答制御による腸内細菌仮説の検証

研究期間

2016年10月1日～2020年3月31日

研究概要

食物アレルギーを持つ患者は、この十数年の間増加傾向にあるが、未だ根本的な予防・治療法は確立されていない。近年、腸内細菌叢の構成異常と食物アレルギーとの関連性が指摘され、注目を浴びている。そこで本研究では食物アレルギー反応に重要な役割を果たしているIgEの産生を抑えるヒト幼児由来の腸内細菌を探索し、その抑制機構を明らかにすることで、食物アレルギーに対する新規治療法の開発を目指す。

代表者氏名	研究機関名	役職
金 倫基	慶應義塾大学薬学部生化学講座	准教授
協力者氏名	研究機関名	役職
岡和田 学	順天堂大学医学部小児外科学	准教授
Gabriel Nunez	University of Michigan	Professor